



加藤学園高等学校

加藤学園高等学校化学部

静岡県沼津市大岡自由ヶ丘1979

「CODとBODを比較した 化学的視点からの環境問題解決に向けて」



Action

環境保護が促進されている今、環境に対しての細心の注意や配慮が求められるようになっていきました。そこで、加藤学園高校化学部は微生物を用いる浄化方法を検討しました。接触酸化法とは、接触材に微生物の住処を作り、その表面に生物膜を生成させ、流れてくる汚濁物質を酸化分解することで、水を浄化する方法のことです。

本化学部は河川の汚濁の原因である有機物の正体を調べるために COD と BOD の値を用いて、その試料水が畜産系農業排水（人ではないものによる汚濁の原因）であるのか、工業系排水（人による汚濁の原因）であるのかを調査しました。

また、どの試料水のとときにどの接触材が適しているかを調査し、地域河川の浄化活動を行っていくことも考えています。